

支援業務諮問委員会（第38回）議事概要

1. 開催日 平成30年9月18日（火）14:00～14:50

2. 場所 一般社団法人電気通信事業者協会 会議室
（東京都千代田区神田小川町1-10 興信ビル2F）

3. 出席者

【委員】（五十音順、敬称略）

工藤 久美子、熊坂 仁、古賀 靖広、菅谷 実(委員長)、砂田 薫(副委員長)、
高美 浩一、富川 慎也

以上7名

（欠席 伊藤 正三、丸山 誠治、田口 和博、松井 敏彦 4名）

【一般社団法人電気通信事業者協会】

有木 節二(専務理事)、福田 進吉(支援業務室長)

4. 議事

(1) 審議事項

- ・番号単価の算定
- ・交付金の額及び交付方法等に係る総務大臣への認可申請等
- ・負担金の額及び徴収方法等に係る総務大臣への認可申請等

(2) 報告事項

- ・支援業務に係る当面のスケジュール
- ・平成29年度収支決算（支援業務関係）
- ・周知広報活動の実施状況

5. 議事要旨

事務局

（開会宣言）

（諮問委員11名中7名出席で定足数を満たしており、本会議は成立している旨を報告）

（資料の有無を確認）

委員長

本日、協会会長からの諮問事項は3件ございます。

まず、番号単価の算定について、事務局から説明願います。

事務局

(資料1に基づき、番号単価の算定について説明)

(資料2に基づき、交付金の認可申請について説明)

(資料3に基づき、負担金の認可申請について説明)

委員長

ただいまの内容についてご質問ご意見等ございませんか。

委員

資料1のユニバーサル収支表について補足説明をいたします。今年から会計基準の変更があり、その前段として、平成28年度から減価償却の方法を定率から定額に変更しています。その結果、費用が大きく減少しました。これはある意味、将来への費用の先送りのような処理になってしまっているのです、その分将来の負担を軽くするため償却を加速する措置を同じく平成28年度に行いました。平成29年度はそういった償却を加速する措置をしなかったため、ノンキャッシュの費用分がプラスに出ているということでございます。

委員

確かに去年も1千億円近い赤字だったと思いますが、かなり改善したと思います。今のご説明ですと会計基準の変更が大きな理由ですね。

委員

もちろんコストの効率化もありますけども、そういったことに大きく影響されています。

委員

今年も相当災害があったので気になるのですが、災害特別損失で災害時の費用を処理されていますが、特別損失の計上というのは、熊本の震災の場合ですと、震災が起こった翌年に設備利用部門、更にその翌年に設備管理部門に係る費用を計上されていますけども、こういう計上は通常の方法になるのでしょうか。

室長

設備利用部門に係る費用と違い、設備管理部門についてはLRICの入力作業が伴いますので、タイミングが1年ずれてしまうということになっています。東日本大震災の時もそうでしたが、今回の熊本震災に係る災害特別損失についても設備利用部門については昨年度に計上し、設備管理部門については今年度の原価に含めて算定することになります。

委員長

その他ないようでしたら、諮問のとおり取り運ぶことといたします。
審議事項は以上で終了しましたので、協会会長からの諮問事項3件に対する答申書（案）についてお諮りします。ご意見等ございませんか。特になければこの内容で会長へ答申することといたします。

次に報告事項に移らせていただきます。報告事項は3件あります。一括して、事務局から説明願います。

事務局

（資料4に基づき、支援業務に係る当面のスケジュールについて、
資料5に基づき、平成29年度収支決算について、
資料6に基づき、周知広報活動の実施状況について説明）

委員長

ただ今の内容について、ご意見ご質問等ございませんか。

委員

事業者説明会が行われるようですが、負担対象事業者に対して行うのでしょうか。参加者数や質問等はどういう状況でしょうか。また、昨年度の繰越金についてももう少し詳しくご説明ください。

室長

事業者説明会には、負担対象事業者をはじめ、関係事業者に参加いただいています。最近の参加者は約20社、20～30名程となっています。合算番号単価等についての情報共有や周知広報関係の連携についてご説明させていただいていますが、事業者の皆さんの対応にも関係するため、合算番号単価の見通し等についてのご質問が多いです。

昨年度の繰越金は経費の節約によるものですが、特に周知広報費に関して、新聞広告の掲載を見直したこと等に伴う繰越金が主なものとなっています。

委員長

よろしいでしょうか。では、報告事項につきましては、ご了解いただいたものといたします。

本日予定された議事は以上でございます。

以上をもちまして、第38回支援業務諮問委員会を終了いたします。

ありがとうございました。